

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の検査受託を開始することになりました。

取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

● I g G 2 : 項目コード 4999

受託開始日

平成27年9月1日（火）受付分より新規受託開始

※ 詳細につきましては、裏面の内容をご参照願います。

保健科学グループ



株式会社 **保健科学研究所**

本社／ 横浜市保土ヶ谷区神戸町 106 TEL 045-333-1661
仙台支社／ 仙台市宮城野区扇町 1-1-6 TEL 022-236-9345
中部支社／ 名古屋市西区則武新町 2-20-17 TEL 052-582-3201
大阪支社／ 豊中市原田中 1-2-3 TEL 06-6843-5622
福岡支社／ 福岡市博多区山王 2-14-34 TEL 092-452-0851

新潟臨床検査センター
保健科学東日本
日本ノーバメディカル研究所
いかがく
組織科学研究所
ケーアイエー細胞病理研究所
カスタムメディカル研究所

遠州予防医学研究所
日本厚生団衛生科学研究所
湘南医化学検査センター
小田原衛検
相模医研
東部メディカルセンター

新規受託項目

項目コード	検査項目	検体 必要量	容器 保存方法	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 判断料	備考
4999	IgG2	血清 0.4mL	A1-1 冷蔵	ネフェロメトリー法	208~754 mg/dL	4~8	388点 免疫	※ *1

検査場所: LSIメディエンス(*1)

※ 原発性免疫不全等を疑う場合に算定する。なお、本検査を算定するに当たっては、その理由及び医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

▼ 臨床的意義

ヒト免疫グロブリンは5種類のクラス、IgG、IgM、IgA、IgD、IgEで構成されています。その中のIgGは、ヒト14番染色体にあるH鎖定常領域遺伝子群($\gamma 1$, $\gamma 2$, $\gamma 3$, $\gamma 4$)の違いからIgG1、IgG2、IgG3、IgG4の4つのサブクラスに分類されています。IgGサブクラスに関連する疾患はいくつか知られていますが、易感染性を示す病態としてIgGサブクラス欠乏症が知られています。特にIgG2は肺炎球菌やインフルエンザ菌のような莢膜多糖体をもつ細菌に対する防御抗体であるため、IgG2欠乏症においては、それらに対する抗体の産生不全や産生遅延により反復性の中耳炎や気管支炎、及び肺炎を発症することが報告されています。その他にも副鼻腔炎、難治性下痢症、髄膜炎、敗血症、慢性肺疾患を伴うことも報告されています。

2015年2月には日本血液製剤機構の免疫グロブリン製剤「献血ヴェノグロブリン®IH5%静注」の効能・効果に「血清IgG2値の低下を伴う、肺炎球菌又はインフルエンザ菌を起炎菌とする急性中耳炎、急性気管支炎又は肺炎の発症抑制（ワクチン接種による予防及び他の適切な治療を行っても十分な効果が得られず、発症を繰り返す場合に限り）」が追加され、免疫グロブリン補充療法の条件の一つに、「血清IgG2値80mg/dL未満が継続していること」が求められています。

IgG2検査はIgG2値の低下を伴う肺炎球菌またはインフルエンザ菌を起炎菌とした急性中耳炎、急性気管支炎または肺炎の発症抑制のための診断・治療に有用であり、免疫グロブリン製剤の投与時に必要な検査となります。

▼ 参考文献

- 史 宇輝, 他: 医学と薬学 48(1):115~120, 2002. (検査方法)
 崎山 幸雄, 他: 日本臨床免疫学会会誌 21(2):70~79, 1998. (臨床的意義)
 金兼 弘和, 他: 日本小児科学会雑誌 109(1):16~21, 2005. (臨床的意義)